

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

ホトトギス

ホトトギス（杜鵑草）は山地の半日陰に生える多年草です。草丈は 40～80cm ほどで花と葉には赤紫色の斑紋があります。その斑紋を鳥のホトトギス（杜鵑）の胸に見られる模様に見立てて名がついたそうです。鳥の名前のついた植物はいろいろありますが鳥の名前そのものというのはいりません。ホトトギスの花は赤紫ですが北海道にはそれより白っぽい「ヤマジノホトトギス」と黄花のタマガワホトトギスの変種ともいわれる「ハゴロモホトトギス」が自生しています。また、ホトトギスの特徴の斑紋が全くない園芸品種シロハナホトトギスはとても清楚な花を咲かせます。鳥のホトトギスは昔から和歌や俳句でおなじみの鳥で北海道では道南に渡る夏鳥ですが、近年、道央にも渡ってくるそうです。なお、ホトトギスをはじめとしたカッコウ科の鳥を「杜鵑（とけん）」と言いやはり斑紋がある花にトケンランというのがあります。ヤマジノホトトギスは 8～9 月が花期、ハゴロモホトトギスはそれより早い 7～8 月。トケンランは 6 月です。（いとう）



オオウバユリに思う (2)

葉が巨大で、たくさんの花を真横に向けて咲かせた姿は、他のユリとは違って不気味な印象を受けます。アイヌの人々は、現代のように澱粉を取り出せる米や馬鈴薯、小麦などの農作物は栽培していなかったため、オオウバユリの塊根をすりつぶし、水に溶いて集め粉にしました。それを冬の貴重な食料とし、土色の残りかすも食用にしたそうです。自然の恵みを末永く得るため、控えめに採取をし質素な生活をしていたのです。ところで最近過熱気味のタピオカもキャッサバという作物の根から得られる澱粉で、主にタイなどの東南アジアから輸入されています。（かわはら）

見直しましょう～マイガーデン

午前中に日の当たる明るい日陰になる庭を「シェードガーデン」と呼びます。どこのご家庭にも環境に近い場所があると思います。今年のように 30 度を超える強い日差しが何日も続くと、日陰を探して鉢植えなど移動されたことでしょうか。西日を避けた明るい日陰に植え込みたい植物は、ホスタなどの他に草丈や葉の色や形が異なり、ユニークなものの組み合わせで立体感も出て趣を感じる事が出来ます。花色は好みで決めるのも良いでしょう。初秋に向かうこの時期にお庭の植物構成を考え見るのも楽しい時間です。（たかはし）

ダイコンの間引き

8月末に種まきをした大根が発芽して2枚葉から4枚葉になるころです。2枚葉の時に1回目の間引きをしますが、注意することは元気な葉を残すことはおわかりのことと思います。大根の側根は2枚葉の向いている方向に出ます。この側根が栄養分を吸収する大切な役割をするので、出来るだけ畝と直角になっているものを残し通路方向に根を伸ばしましょう。間引くときは、引き抜くのではなくハサミを使って地際で株を切ります。引き抜くと残った株の根を傷め、成長不良や異形になります。本葉5～6枚目で2回目の間引きをします。この頃すでに細い大根が出来ていますので料理に使えます。成長がおもわしくない時、畝方に追肥を与え、畝を中耕して軽く土を寄せます。中耕することにより土中の空気や水の通りが良くなり、根が成長し、土寄せにより曲がったりするのを防ぎます。(ながやす)



バラ園

美しすぎてけしからん！秋のバラ。

昼夜の寒暖差と緩やかな生長が、バラの香りや色を濃厚にします。見ごろは9月下旬～10月上旬ころ。初夏の一番花と違い、ボリュームを楽しむのではなく一輪一輪を楽しむのが秋花の醍醐味です。

写真を撮る方は、色が綺麗で形のよいバラを狙うなら秋がベストです。赤トンボがバラの上で休んでいるショットもよく撮れます。秋の夕方は光が強くて赤いので、ホワイトバランスに気を付けて撮るのがポイントです。

昼顔

昼顔がはびこって困っているという相談がありました。同じヒルガオ科の1年草の朝顔と違って、昼顔は地下茎で増える多年草で冬に地上部は枯れますが、越冬した地下茎が春には復活して再び成長します。無農薬の園芸を目指している人にとってドクダミと同様になかなかの強敵です。愛らしいピンクの花ですが庭や畑など生えては困るところはマメに採るしかありません。(きのした)



スイカの収穫タイミング

近年、家庭菜園でスイカ栽培をする方が多くなってきましたが、美味しいスイカは収穫時期のタイミングによります。

さて、そのタイミングはいつでしょうか？

スイカは、植え付けてから85日～90日が収穫時期と言われ、また、受粉してから35日～40日と言われているので、それぞれ記録しておくことが必要です。受粉を虫任せにしておくといつ受粉したか不明となりますので人工授粉をお勧めします。

(収穫時期の日数は、栽培環境、スイカの種類によって多少異なります)

そこで、収穫時期近くなったら、実のついた場所のすぐ近くに、巻きひげが生えています。この巻きひげの状態によって、熟しているかどうか分かります。

巻きひげがまだ青く軟らかい場合は、熟していませんので少し待ちます。巻きひげがかれたような状態になり、堅くなったら収穫です。

また、叩いて確認する方法もあり、ポンポンと澄んだ音が鳴ったら収穫時期ですが実際にやってみると比較するものが無くかなり難しいです。



ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)



第六十四回

ハイブリッドスピノシッシマローズ

ロビー バーンズ

Robbie Burns

作出国：イギリス

作出者：Austin

作出年：1986年

ハーディネスゾーン：Z5

一季咲き性

交配：Wife of Bath® × Rosa
pimpinellifolia

Robbie Burns は、一重咲きで年に一度しか咲かない一季咲きの見た目・生き方ともに非常にシンプルなバラです。直径 5～6 cmほどの小中輪で、ややカップ状に咲くライトピンクの花弁の中心には可愛らしい黄金色の蕊をのぞかせています。早咲きで、6月上旬ごろから開花が始まり、メインのガーデンが最盛期を迎える7月上旬ごろには開花が収束してしまいます。非常に花付きがよく、夏～秋には山リンゴのような表皮の赤黒いヒップになります。強香という記述もありますが、実際あまりそのように感じたことはありません。

特記したいことは、意外にも作出者がイングリッシュローズ（以下 ER）で有名な David C. H. Austin であること。ER といえば、クシュクシュとした可愛らしい口ゼット咲きでカップ咲き、うつむいて咲く姿はしおらしく、乙女チックなバラばかりを思い浮かべますが、Robbie Burns のようにそうでない品種もたくさんあります。ER の Wife of Bath® と原種の Rosa pimpinellifolia (Rosa spinosissima)：通称 スコッツローズの交配なので、ER が誕生していなければこの品種は生まれていないでしょう。ER の仲間には分類されていますが、針のように細く多いトゲや小さく細かい葉など、そ

の容姿はスコッツローズの血を色濃く引き継いでいます。ちなみに耐寒性も強く、カナダのノバスコシア農業大学での耐寒・耐病評価で耐寒性があると認められました。

Rosa pimpinellifolia はスコッツローズというだけあって、スコットランドでは物語や歌などに登場する馴染みのある植物です。Robbie Burns という名前もスコットランド人の詩人である同氏に由来します。「蛍の光」の原曲「オールド・ラング・サイン」の作詞をしたことで有名です。スコットランドで尊敬されていて、生誕した1月25日前後に「ハギス」という伝統料理を出して、歌ったり詩を朗読したりしてお祝いする行事があり、スコットランドのみに留まらず世界中の移民たちの間でも行われています。また同名のウィスキーもあります。Austin氏が交配にスコッツローズを用いた経緯は分かりませんが、「Mr.Aのバラ愛」といったところでしょうか。色々調べてみると ERの父が作ったとしてもスコットランドなバラということが分かりました。

来年まで当品種の花は見られませんが、この季節は赤黒いヒップを楽しむことができます。一番花の時期にはみられないローズヒップの鑑賞、いかがでしょうか？花よりも品種毎に個性があって面白いですよ。

色かたち良く、濃厚な香りの秋バラをお楽しみください

いわみざわローズフェスタ 2019

IWAMIZAWA Rose Festa

9/21 SAT ▶ 10/20 SUN 9:00 ~ 17:00

秋

今月の市民園芸講座のご案内

これは面白い!



- 9月8日(日) 13:00~15:00 ミニ盆栽を仕立てよう
料金: 2,000円 定員: 20名 講師: 君島 信博さん 草つ月
- 9月22日(日)・10月5日(土)・10月13日(日) 13:00~15:00
バラ管理スタッフのローズツアー
料金: 無料 定員: 40名 講師: バラ園スタッフ
- 9月23日(祝月) 13:00~15:00 楽しいキノコの見分け方
料金: 無料 定員: 40名 講師: 伊達 佐重さん 北海道自然保護協会
- 9月28日(土) 10:00~12:00
ばらゼミ⑦至高の秋バラをローズグロワー工藤敏博と巡る
料金: 無料 定員: 40名 講師: 工藤 敏博さん ローズグロワー
- 9月29日(日) 13:00~15:00 バラ園のバラを使ったアレンジメント
料金: 1,000円 定員: 20名
講師: 大和田 由紀子さん カンガルーファクトリー
- 10月6日(日) 13:00~15:00 早春を彩る球根を植えよう
料金: 2,000円(容器代別途) 定員: 10名
講師: 高橋 かつえさん フラワーマスター